

緑被率及び緑視率調査の結果について

◆調査の目的

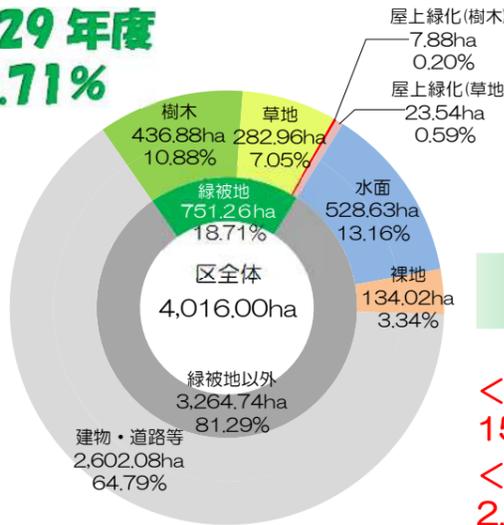
本調査は、みどりの基本計画の目標管理指標である緑被率と緑視率の調査を行うものであり、調査は5年に一度実施している。本調査では、平成29年度江東区緑被率等調査の調査結果及び平成30年度江東区緑視率等調査の調査結果と令和4年度調査結果を比較及び分析し、今後の緑化施策に反映させる基礎的な資料を作成することを目的とした。

◆緑被率調査

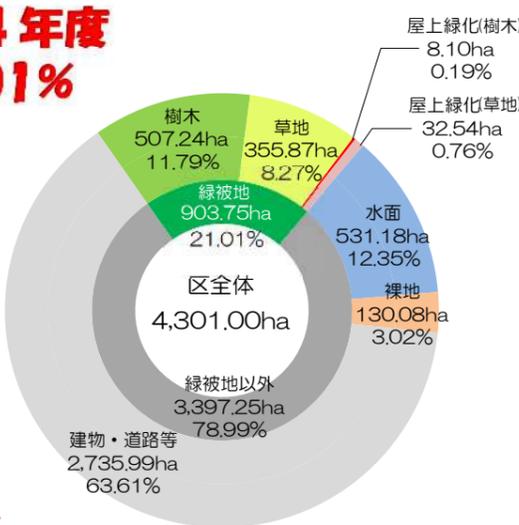
- 緑被地：樹木、草地、屋上緑化などの緑に覆われた部分
- 緑被率：緑被地が区域に占める割合

区全体の緑被面積は903.75ha、緑被率は21.01%であった。(23区中7位)
平成29年度調査と比較すると、緑被面積は152.49ha、緑被率は2.31ポイント上昇した。

平成29年度
18.71%



令和4年度
21.01%



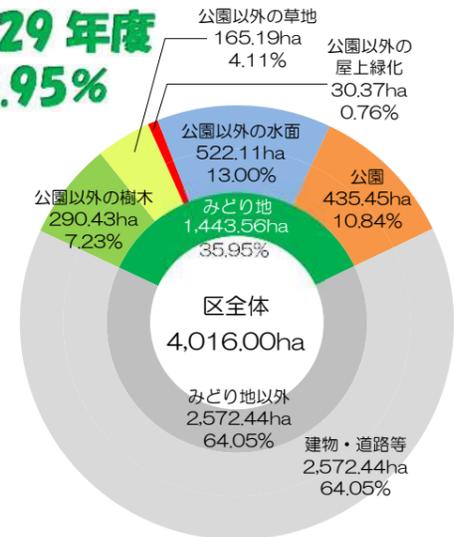
<緑被面積>
152.49ha 上昇
<緑被率>
2.31ポイント上昇

江東区の緑被率目標値：22.0% (令和11年度までの目標値)

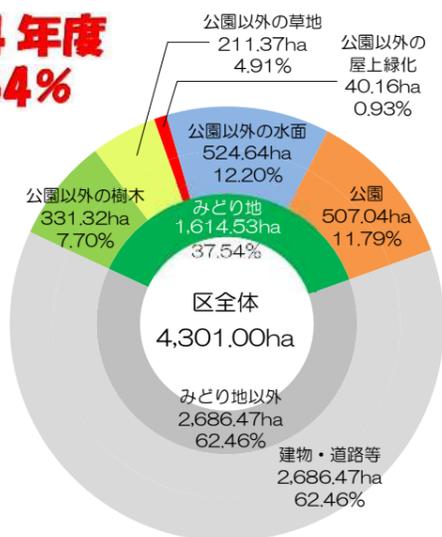
■みどり率：緑被率に公園(樹木等で覆われていない部分)や河川等の水面を加えたものであり、東京都の緑化指標として使われている。

区全体のみどりの面積は1,614.53ha、みどり率は37.54%であった。(23区中1位)
平成29年度調査と比較すると、みどりの面積は170.97ha、みどり率は1.59ポイント上昇した。

平成29年度
35.95%



令和4年度
37.54%



<みどりの面積>
170.97ha 上昇
<みどり率>
1.59ポイント上昇

※江東区の面積：約4,301ha
区全体の面積は、中央防波堤埋立地の帰属決定を受けて、平成29年度より広がっている。

- 地域・地区界
- 樹木
- 草地
- 屋上緑化(樹木)
- 屋上緑化(草地)
- 水面
- 裸地



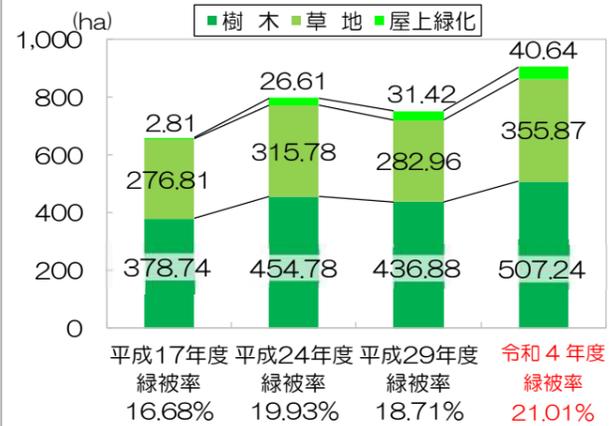
令和4年度 区界
中央防波堤(区外)



図 令和4年度緑被地分布図

◆緑被率調査

平成 17 年度からの緑被率の推移は、平成 29 年度に樹木と草地の面積が減少するも、令和 4 年度には増加に転じており、緑被率の目標値まで残り 0.99%となった。



町丁目別の緑被率は、若洲三丁目、夢の島二丁目、木場四丁目といった、ゴルフ場や大規模な公園がある町丁目の緑被率が高い傾向であった。

一方、緑被率が低いのは新大橋二丁目、森下二丁目といった、深川北部が低い傾向であった。

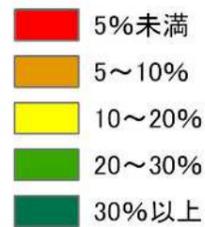


図 令和 4 年度町丁目別の緑被率



◆緑視率調査

■緑視率：都市の緑量を表す指標の一つで、人の目に見える緑の割合を表している。

江東区の緑視率目標値：22.0%（令和 11 年度までの目標値）

平成 23 年度からの緑視率の推移は、増加傾向にあり、令和 4 年度には前回調査から 0.9 ポイント上昇し、17.2%となった。

<前回比>
緑視率：0.9 ポイント上昇



町丁目別の緑視率は、若洲三丁目、豊洲一丁目、青海二丁目といった、区の臨海部で高い傾向であった。

一方、緑視率が低い町丁目は、北砂四丁目、常盤二丁目、亀戸五丁目といった、区の北部で低い傾向であった。



図 令和 4 年度町丁目別の緑視率

